日本建設機械化協会
J.C.M.A.

No. 173　　1964年7月号

目　次

新幹線と建設機械 ……長浜正雄… 1
都市土木の将来について ……大塚全一… 2
昭和39年度官公庁の事業概要（その4）
Ⅷ. 昭和39年度電源開発計画の概要……伊藤和幸… 6
Ⅸ. 昭和39年度首都高速道路公団の事業概要……松田豊三郎…11
Ⅹ. 昭和39年度農地開発機械公団の事業概要……佐野文彦…14
グラビヤ—羽田モノレール線建設工事の現況
新発足した日本鉄道建設公団 ……斉藤俊彦…17
新幹線軌道工事の機械化について ……小林正宏…20
名神高速道路舗装工事施工の技術的問題点と機械導入による解決策 ……今田元氏・中島彬博…28
新幹線馬込架道橋の架設について ……大木守政・荻原雅夫・佐島嵩・宮田尚彦…34
新清水トンネル第3工区の掘さくについて ……野沢太三…41
首都高速1号線の羽田沈埋ずい道工法について ……岡沢裕…48
建設機械の現状（その4）Ⅰ. 土工機械
Ⅰ—7. 締固め機械 ……田中康之…55
「建設機械化講座」第16回　現場フォアマンのための土木と施工法
Ⅶ. 名神高速道路工事の機械化土工の実例（その5）…河野成…61
「特許・実用新案の解説」第11回　建設機械の発明・考案
Ⅸ. 舗装機械編 ……荒木達雄…65
「文献調査」アイソトープを利用した土質試験器 (Hidrodensimeter HDM 2) ……施工部会文献調査委員会…69
ニュース……（編集部）…71
行事一覧・編集後記 ……（伊丹・梅原）…72

◇表紙写真説明◇

日鋼 O & K 全油圧式パワーショベル RH 5

株式会社　日本製鋼所

日鋼 O&K 全油圧式パワーショベルは西独の代表的建設機械メーカであるオレンシュタイン・コッペル・ウント・リューベッカー社（O & K 社）と株式会社日本製鋼所との技術提携により国産化された 0.5 m³ の全油圧式パワーショベルである。

<RH 5 の 8 大特長>

1. 掘削，旋回はもちろん走行も油圧で行なう全油圧式である。
2. 250 kg/cm²を保証する可変吐出量高圧フランジャーポンプを油圧源としているので掘削力は最大であり，しかもエンジンに過負荷がかゝらない。
3. ショベルは2本のピンの入替えだけで10分間でバックホウになる。
4. ジブは2本のピンの差替えだけで長さおよび位置が6通りに変更できる。
5. 4本のレバー，2つのペタル，これが RH 5 の運転のすべてである。はじめての方も簡単に運転がマスターできる。
6. 視界は広く，通風は十分，寒冷時は暖房装置があり運転者の疲労防止，安全確保が十分配慮されている。
7. 左右の履帯は別個に前後進，停止するので信地旋回，超信地旋回が可能で狭い地域での作業移動にこの上なく便利である。
8. 建設機械用エンジンとして世界に定評あるフンボルトディーゼル（空冷）を搭載している。

主　要　諸　元

バケット容量	0.5 m³	油圧	油圧ポンプ	2台	110 l/min
全高	2,760 mm		油圧モータ	3台	0～250 kg/cm²
全幅	2,395 mm	原動機（空冷ディーゼル）	名称・型式		Mitsui Deutz A 3 L 514 型 3気筒4サイクル直列(渦流室式)
履帯幅	500 mm		燃料消費量		軽油　188 g/psh（全負荷時）
重量(バケット付)	13,575～14,675 kg		潤滑油消費量		0.085 g/psh
接地圧	0.51 kg/cm²		総排気量		3,990 cc
旋回速度	11.6 rpm		1時間定格出力		48 ps/1,800 rpm
旋回角度	360° 全旋回		連続定格出力		42 ps/1,200 rpm
走行速度	0～2.2 km/h		その他		オールスピードガバナ付